
織斑一夏転生日記。

神青雪由

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

織斑一夏転生日記。

【Nコード】

N8007W

【作者名】

神青雪由

【あらすじ】

一夏は見た目は138cmの黒髪長髪。

少し毒舌。敵と見なした人物には容赦がない。

何故か千冬と束のブラコンが極限まで達している。

作者の頭の中では一夏の容姿はツインエンジェル2のクルミ。声は・

・海原エレナ様の少女声。

あとは脳内補完。

あとは第一話を見ればわかる。

ちなみに作者は基本的にオタクです。

一夏きゅんの転生日記

織斑一夏は転生者である。といつてもよくある一夏以外の人間でない。

織斑一夏という存在そのものが転生をしている。

最初はもう覚えていない。なぜなら100回以上、魂の転生をすれば嫌でも忘れてしまう。

転生を重ねていく内に実の姉こと、織斑千冬を越える戦闘技術、天才（天災）こと篠乃之束を凌駕する頭脳を会得してしまった。

なぜ死ぬと魂と記憶を引き継ぎながら転生するかは分からないが一夏は薄々きずいていた。

「世界」が織斑一夏という因子を失うとISの世界の中心が消滅する事になる。ISという世界の崩壊に繋がるからだ。

故に何度死のうが強制的に魂が織斑一夏が誕生する世界に転生させられ、一つの世界が崩壊し、新しい世界が誕生する。

本来、平行空間とはほぼ無限に存在し、常に増え続ける。しかし、中にはイレギュラーが発生する場合もある。

織斑一夏以外の男性IS乗りの誕生だ。このイレギュラーが発生すると、イレギュラーは瞬く間に平行空間上に感染していく。

イレギュラーが発生する空間の発生確率は94%と非常に高い。イ

レギュラーが発生した世界は中心を失うために徐々に消滅していき、最後には硝子の様に粉々に砕けちる。

故に世界は織斑一夏を失わない為に一夏の魂を転生させる。

さて・・・今度はどんな世界に転生するやら・・・

転生（前書き）

この小説には型月とあるシリーズの概念や武器の設定が混じっています。

転生

意識が浮上し、織斑一夏が内包する世界が構成され、織斑一夏の精神を再構築する。

脳が次第に活性化し、五つの感覚が急激な勢いで神経に信号を伝えていく。

次第に視野に光が満ちていく。

・・・ここファントム・タスクの研究所か。身体中にコードが刺さっていてかなり痛い。

とりあえず自己分析するか。

・・・解析、トレース・オン開始

大脳解析・・・異常なし。

小脳解析・・・異常なし。

脊髄解析・・・異常なし。

神経解析・・・異常なし。

11次元格納・・・健在

身体解析・・・警告。筋力が40%低下
解析終了。

ふう。やはり筋力が落ちているか。まあ致し方ないか。

とりあえずコードを引っこ抜く。

ブチブチと多少不愉快な音と警告音がするが気にしない。

全部引っこ抜くと腕から血が吹き出すが瞬時に塞がる。

不信に思い、瞬時に解析すると、どうやら治療用のナノマシンがいくつも血液中に存在することが判明。

廊下から研究員が走っていると思われる音がする。とりあえず逃げるか。

シルバーヘッジ
空間転移術式・・・起動。

瞬時に座標を演算し、空間転移術式にそれを割り当てる。

その瞬間に扉が開くがもう遅い。体が量子分解される。よし置き土産だ。

11次元格納から小範囲用反物質爆弾を取り出す。

それを研究員にぶん投げる。

一夏「じゃあな。腐れ研究員。そのまま反物質の粒子の反発を受けて原子ごと消滅しろ」

瞬間、一夏は完全にその場所から消え、反物質爆弾が爆発し、研究所ごと跡形もなく吹き飛ばした。

千冬1（前書き）

千冬はブラコン、束はイチコンです。

千冬1

見慣れた風景がイメージとして脳を駆け巡る。

次第に体が構成され、その存在が確率していく。

完全に体が構成され、見慣れた家が目に入る。

・・・そーいえば服を着替えなくて大丈夫か？。ま、面倒くさいしいいか。

インターホンを押そうと・・・

「一夏なのか・・・？」

懐かしい声が聞こえた。親愛なる我が姉の声だ。

「うん。・・・帰ってきたよ、千冬姉

」

その瞬間に千冬姉が瞬動並の速さで抱きついてきた。

「よかった・・・本当によかった・・・。」

千冬姉は号泣しながら俺を抱き締める。

・・・あの千冬姉？、抱き締めるのはいいのだが首がホールドアップされてるう！。た、タップ、タップ！

・・・・・・・・・・・・・・・・

side 千冬

よく抱きしめてその感触を確かめる。

第二回モンド・グロツソの決勝戦の途中に一夏が何者かに誘拐された、という連絡がドイツ軍から入った。

その瞬間に私は上空のエネルギーフィールドを破壊し、瞬時にドイツ軍から連絡を受けた倉庫に飛んでいった。

一夏・・・・・・・・！無事でいてくれ！

しかし、神は無情だった。

扉を破壊し、その目に入ったのは・・・・地面を赤く染めていた赤い液体。鉄の臭いが鼻をつく。

そして、・・・・見つけたのは一夏が来ていた服だった。真っ赤に染まって元の色を留めていない。

その瞬間、織斑千冬の世界がガラガラと音を立てて崩壊した。

・・・・唯一の血縁にして私の弟であり守るべき存在で私の宝物。

私の頭の中は一夏を助けられなかった絶望となぜ、一夏と一緒に行動しなかったという後悔、そして最後になぜ、一夏がこんな目にあわなければいけないのかという憎しみ。

・・・あとは憶えていない。

朝起きて、飯を食べずにボツとして夜になるとインスタントラーメンを食べて、酒に溺れるという墮落した日々を送っていた。

一夏がいらない世界など、滅んでしまえばいいと常に思い、自殺もしたが死に切れなかった。

世界のすべてがモノクロに染まり、色褪せ、生きているという実感さえも失いかけた。

インスタントラーメンを買いに行った帰りに私は思わず買い物袋を落とした。

目の前には手術服を真っ赤に染めた最愛の弟がいた。

私は遂に幻覚を視てしまったのかと目を擦ったがその現実は変わらない。

「一夏なのか・・・？」

私がそう問いかけると一夏は此方向き、ニツコリと微笑んだ。

「うん。・・・帰ってきたよ、千冬姉」

その声を認識した時、世界に再び色彩を取り戻した。

世界に光が満ちていく。

無意識の内に瞬動を行い、抱きしめた。

この抱き心地・・・一夏だ。

一夏が生きていたという事実が私の世界を再構築していく。

涙がボロボロ流れ落ちるが気にしない。

今は一夏を抱きして一夏分を補給しなければ。

ん、一夏・・・

うわぁ！、す、すまない一夏。ついに力が籠ってしまった。

私が抱擁から一夏を話すと、一夏は深呼吸をして私を見て花が咲くような笑顔を見せて・・・

「ただいま！、千冬姉。」

思わず鼻から愛情という名の液体が吹き出しそうになったがここで愛情を噴射したら姉としての面目が・・・！。

私はとりあえず、もう一度抱きしめ、愛情を込めて・・・

「おかえり・・・一夏。」

人物設定（前書き）

ヴラドⅡ ツエペシュ様、神無鵝人様、感想ありがとうございます。

一応、平行空間は”IF”の集合体みたいなものなんで魔術もありかなと思ひまして。

英霊エミヤと一夏が戦ったと言う文章がありますが、あれはエミヤが固有結界を使用していない状態での戦闘だったと書いておきます。

というか固有結界使われたら勝てないだろと思います。

そりゃあねえ、宝具や神剣・魔剣の剣軍が飛んできたら負けを認めるしかないと思う。

人物設定

織斑一夏

138cmの男の娘。

死ぬと別の織斑一夏に転生する存在。

転生する内に魔術が存在する世界にたどり着き、自らの科学に魔術を融合させ、オーバーテクノロジーも真つ青な技術確立した。

魔術に近い科学を開発し、それを施行する。(fateの凜が言うには魔術は過去に走り、科学は未来に走るらしい)

量子分解による空間転移、魔術的な要素を含むナノマシンを使用した五代元素操作、超螺旋エネルギー理論を応用した擬似空間屈折絶対防御、量子宇宙論を応用した空間と空間の中に物体を収納する11次元格納など篠乃之束も真つ青な技術。

転生する内に世界が誤認識し、抑止力が働きゴーストライナー(ように言えば英霊)と戦い、引き分けた。

元々、英霊と戦える事じたいが人外染みているが、引き分けたとなると一夏って一体・・・

一夏が言うは「あの宝石翁や黒のお姫様、ショタコン騎士・蒼の死神に比べたらエミヤなんて・・・」らしい

使う機体は自作機体「第零世代」の最強の機体ユニコーンを扱う。

織斑千冬

世界最強のIS操縦者。

元々ブラコンだったが今回の事件でブラコンが神なるブラコンにランクが上がった。

一夏と最低でも1日10時間以上触れていないと一夏分が不足して体に力が入らなくなるらしい。

よく一夏の笑顔や、萌える仕草を見ると鼻から愛情を噴射してしまふ。

使用機体は本来は暮桜だったが一夏が開発した「第零世代」スターゲイザーを使用する

束さんは次回に

人物設定2（前書き）

出してほしい機体があれば、作品名と機体名と特徴を書いてくれればなるべく出します。

ちなみに、可変機体は無理です。さすがに体を可変機体と同時に可変させるのは人間の骨格上不可能なので。

ちなみに作者はガンダムとクランプとナデシコは大好きです。ブラツクサレナかつこいいです。

人物設定2

篠乃之束

天才（天災）の異名を持つ変人。

かつて12ヶ国の軍事コンピュータをハッキングし、2341発のミサイルを日本に向けて発射した。

そこで、千冬に白騎士を渡し、世界に喧嘩を売った。

・・・結局、束が完封勝利したがその被害が尋常じゃなかった。

ミサイル2341発、戦闘機207機、巡洋艦七隻、空母五隻、監視衛星八基を無力化した。

何が、束の心の琴線に触れたかはわからないがことある事に一夏を抱きしめる。

その兵器レベルの胸で抱きしめる為に一夏は気絶する。

言うには「いっくんになら私の全て捧げてもいいよ」らしい。

一夏もまあ、束の事は気に入っているために、第零世代の情報を渡したら、「いっくんて、絶対私よりも、頭良いよね！。あー、もうきょんとするいっくん可愛すぎ！ムギユ！ 束が一夏を抱きしめる音」と言う反応が帰ってきた。

何故かいつも一夏が朝飯、晩飯を作るときにいつの間にかテーブルに座っている。そしてちゃっかり食べて、食器を洗って一夏を抱きしめてからいつの間にかに消えるという謎の塊な人間である。

使用機体は一夏と束が共同制作した「第零世代」IS・ダブルオークアンタを使用する。

人物設定2（後書き）

作者は束さんとシャルと簪が好きです。

束1（前書き）

今考えたらガンダムって明らかオーバーテクノロジーだと思う。
どーやったらあのサイズでの歩行が出来るんだろうか。

重力や重さの関係上、歩いたら中の人間が死ぬとおもったが・・・

束1

拝啓、天国のお母様、お父様。

一夏は今、理性が色んな意味で危ないです。千冬姉が話してくれませんか。

私が帰ってきてから千冬姉のブラコンぶりに更に拍車がかかりました。

例えば、朝起きるとパジャマ姿の千冬姉が私を抱き枕にして安らかな寝息を立てていい。千冬姉は胸が以外に大きい。身長の関係で顔が胸に当たる。・・・これなんて拷問？。抜け出そうとしても両手がつちり背中をホールドしていて抜け出せない。

一時間後、やっと千冬姉が起きる。千冬姉は朝が弱い。いや、弱いなんてそんな柔なもんじゃない。壊滅的に弱いのだ。

ホールドしていた腕の力が弱まり、するりと抜け出す。

さて、朝飯を作ろうか。

今日は・・・先日、隣の家の赤木のおじさんが分けてくれた鮭の塩焼きと自家栽培した野菜の浅漬に厚焼き卵に味噌汁にしよう。

冷蔵庫から鮭を取り出す。うん、立派な鮭だ。腹に包丁を入れて鮭の卵ことイクラを取り出す。醤油漬けにしてご飯の上にかけて食べると吃驚するくらい上手い。

鮭に包丁を入れて捌く。

・・・おそらく束さんも集りに来るだろう。まあ、旨いと言ってくれるから別に良いけど。

昨日、浅漬液に浸けておいた胡瓜と那須と白菜を取り出す。

フライパンに鰹と昆布だしを混ぜた卵汁を厚焼き卵専用のフライパンに三回に分けて流し込む。

七輪に置いておいた鮭をひっくり返した。やっぱり、フライパンより直火の炭だな。

・・・まだ10歳にもならないのになにやってんだ私は・・・。

鮭が焼ける匂いにつられたのか千冬姉がまだ寝ぼけた足取りで二階から降りてきた。

「ううゝ・・・眠い。」

まだ半分ほど脳が眠っているのだろう。あと、千冬姉、服がはだけているぞ。

「千冬姉、おはよう。」

そう言つと千冬姉はまだ寝惚けた声で、

「ああ、おはよう、一夏」

千冬姉はフラフラしながら椅子に座った。お、鮭が丁度良い色に焼き上がったな。

先ずは厚焼き卵を取りだし、包丁で分割して小鉢に盛る。

次に七輪から鮭を取りだし、皿に盛る。三匹を・・・

ふと、気配がし、テーブルをむくと兎耳が生えたニセアリスが座っていた・・・。

いつの間に・・・。しかも気配を全く感じずにだと・・・。

「ねえねえ、いつくん。今日の朝御飯は？」

「今日は鮭の塩焼きにイクラの醤油漬けに野菜の浅漬に厚焼き卵ですよ」

そう言つと東さんは万歳をし、

「うんうん、流石はいつくん。立派なお嫁さんになるね」

・・・いや、私は男なんだが・・・まあこの身長に童顔に長髪だからしょうがないか。

「東、一夏はやらんぞ」

お、千冬が起きたか。

「ふ、ちーちゃん、愛は奪い取る物なのだよ！」

いやいや、東さん、そんな力説されても・・・

「ふん、奪い取るなら先ずは私を倒してからにしろ」

「千冬姉、東さん、とりあえずもうすぐご飯だから戦うんならご飯を食べてからね。」

「わかった（よ）」

二人は大人しく席についた。

朝御飯を運び、テーブルに置いた。

「今日も美味しそうだね」

「ああ。一夏の作るご飯は本当に美味しいからな。」

ああ、これこそが求めていた平穏……。どうせ、ファントム・タスクが色々してくるんだ。今の平穏を全力で守るか。

「ん、とりあえず食べようか」

椅子に座り、日本独特の食事を始める際の号令を三人で発する。

「いただきます。」

今日もお百姓さんと赤木さんに感謝しながら食べる

・・・・・・・・・・・・・・・・

三人が食べ終わる。

「ふい、ごちそうさま。今日も美味しかったよ、いっくん。」

「今日も美味しかったぞ、一夏」

二人が美味しかったと言ってくれただけで作った甲斐がある。

「千冬姉、東さん、あとで前に話した第零世代について話が有るんだけど・・・大丈夫かな？」

その瞬間、二人の顔が強ばる。

「大丈夫だよ、いっくん」

「大丈夫だ、一夏。」

よかった。東さんと千冬姉には帰ってきた翌日に第零世代については話してあるからね（転生と魔術については伏せてあるが）

とりあえず、食器を洗おう。

食器を洗いながら考える。

第零世代は今、4機存在する。

ユニコーン、ブラックサレナ、スターゲイザー、（クスイー）。最強はユニコーンだ。あれは織斑一夏の集大成と言っても過言じゃない。

エネルギー攻撃はI f i e l dと空間湾曲力場で消滅し、実弾攻撃は超螺旋f i e l dで無効化する。もし、攻撃を受けても装甲自体に傷1つもつかない。織斑一夏が開発した特殊合金「フェリナル・マグリット」を使用しているのと、クオークマシンが装甲に対してダメージを認識した瞬間に装甲を再生するためである。

そして最終形態N T - Dである。あれは世界に対して空間範囲内の決定因子を書き換えるシステムである。様にいえば確率変動である。

確率変動は織斑一夏が転生する度に研究していた術式で今の所、一夏が扱える最大の魔術に近い科学である。

しかし、魔術の世界で出会った宝石翁が言うには「うむ、魔法を使

うものは大概是確率変動に近い魔法を使えるぞ」ととんでない事を言い出した。

確かに、平行空間に跳躍したり、時間を操る魔法使いからしたら普通か・・・と納得してしまい一週間ほど意気消沈した事はまだ記憶に新しい。

それに、束さん専用IS「ダブルオークアンタ」の事もある。

あれはシルバーヘッジが暴走し、ユニコーンごと、別世界に飛ばされた時だった。

ボソニアウトして最初に目に入ったのが淡い碧色の粒子を広範囲に渡り展開している機体だった。

あまりの美しさに見とれていると無意識的に脳に少年の声が響いた。

ば、バカな！。無意識的に脳に対する意志疎通だと。

この世界の機体とISは通信方法が違う上にこの世界に魔術等はあるはずがない。

ならば、超能力か？。いや、恐らくあの碧色の粒子が関係しているねだろう。

これ以上、留まっているとこの世界に何らかの影響を与えるかもしれないと思い、急いでシルバーヘッジで空間転移を行った。

ISの世界に戻り、あの世界にいた碧色の粒子を放っていた機体を目指した。

それがダブルオークアンタを制作する事に繋がった。

パクリみたいな物だがISの世界にはガンダムが存在しないためにオ
リジナルに必然的に格上げされる。

故に修正力や抑止力もなくスムーズに制作が進んだ。

ガンダムの世界でこれを行うと修正力や抑止力を受ける。様にいえ
ば、襲撃や接触不良による爆発といった物。

ダブルオークアンタ自体に9割り方完成しているがあとは東さんの
自作OSを入れるだけだ。

（携帯の文字数の関係上次の話に）

束2（前書き）

竈猫様、SILBA様、感想をありがとうございます。

一夏は転生ばかりしていて性格が少し捻れています。だから多少の無茶ぶりは勘弁してください。完全に織斑一夏として完成したら多分、fateのアーチャーみたいな性格になると思います。アーチャーも一言で言えば、掃除屋なので人間の愚かさや醜さを理解していますので

まだ、織斑一夏としては完全な織斑一夏には至っていません。至るのはまだ先ですが・・・

作成は00の映画は見ていません。

ガンダムAGEのエンディングを我が栗林みなみ様が歌うらしいが・・・

早くTHE originアニメ化しないかな？

因みにスパコンと演算OSですが、作者はマザーボードメーカーに勤めているので、スパコンに使われているマザーボードとCPUの大体のスペック位は解ります。完全ではありませんが。一応、現在世界で最も多くの演算ができるのは日本が開発したスパコンです。京の位まで演算できるらしいです。

束2

束さんが最適化した織斑一夏が開発した第零世代専用OS「generation force VER1.0.0.0」を適用させないといけない。

そのOSの単純な演算能力だけで量子演算を簡単に凌駕する。

PIMSと言う特殊な演算エンジンを積んでいる。量子演算と言う同じだが並列的に演算を行う為に量子演算を複数行う。

まだ完全とはいかないが後は遠隔でシステムのアップデートすればいい。

問題は第零世代は別々のOSを用意しないといけないという不便さを持つ。

ダブルオークアンタのOSをユニコーンにinstallしてもActivationできない。

故にOS自体は完全にならない。本来OSとは凡庸性に優れているが、凡庸性がなければOSは完全でなくなる。

ビル・ゲイツで有名な会社のOSは大概のマザーボードにinstallできる。

(流石に3.1やLinuxは無理だが)

まあ、ステイプ・ジブズが有名な所でも凡庸と言えば凡庸だが、あれは専用マザーボードが必要な場合がある。

上記の様に一機体に対して1つのOSと言うのはコストパフォーマンスが悪すぎる。

(因みに現存する世界最上位の演算OSとスパコンはフェラーリのエンツァが800台を簡単に買える位の開発費がかかっています。

by作者)

ん?なんだ今のは?。まさか今の有名な天の声か。

まあ、第零世代の凡庸性を持ったOSも有るんだがシステム構造の関係上第零世代のスペックの50%も発揮できない。

第零世代はコアを11個のコアを1つのコアとして認識させている。しかも11個のコアは全て種類が違う。

G N d r i v e ・ 太陽炉・相転移エンジン・トロニウム念動エンジン・光子drive・Minovsky

D r i v e ・ I S コア・超螺旋エンジン・反物質反応炉・銀鍵守神機関・魔術エンジンと下手をすると小銀河に匹敵するエネルギーを生成する。設置場所も巨大になるが11次元格納を応用した収納技術を利用している為に格納場所は1mmの小さい金属盤。

それらを一齐にコントロールしようとする膨大な操作系統デバイスと巨大な容量が必要になる。

それらを最適化を行うに今まで時間が掛かった。

今日、漸く真の意味でダブルオークアンタが完成する。

・・・流石にガンダムの世界にいたあの碧色の粒子を放っていた機体の名はわからないが。

それにあの碧色の粒子がどんな力があるか解らないが。

深層意識レベルでの無意識下での一方的な意識干涉・・・。

一種の超能力に近い物だが・・・。それはあり得ない。

一応、こう見えても脳に外部から意識干涉を遮断する術式を組み込んである。

それを突破するとなると・・・理解不能だ・・・。

あの宝石翁なら分かるだろうが・・・。

漸く食器を洗い終え、食器を食器棚に収納する。

・・・さて、どうなるのやら

束2（後書き）

因みにスパコンはサーバ以上の演算能力を持ったマザーボードの集合体です。

確かサーバ専用マザーボードって最高RAMが32TBまで処理できるはず。

前書きに書いてあった日本のスパコンの話ですがあれは一秒間に何回演算できるかの試みです。

ああ、icore7のエクストリームが欲しい・・・

しかし、CPU1つに11万も使う勇気がない・・・

アンケート？ 東専用IS「ダブルオークアンタ」のワンオブアビリティーにつ

人生オワタ＼（＾o＾）ノ様、SILBA様、感想とご指摘をありがとうございます。

GNドライブと太陽炉が同じとなれば、太陽炉を別の存在にすればいいんじゃない？、という意見を友人IとMに言われました。

作者は昔のアニメが好きでゴットマーズというアニメをよく見ていました。作中に主人公が陽子炉を扱うシーンがありました。その陽子炉をISの世界で太陽炉に作り替えたと言っ無茶ぶり設定にします。一応、陽子は分解すれば性質上、クオークまで分解できるのでなんかガンダム臭がプンプンしますが後付け設定をロボットアニメからとつたら何も残らないので、そこはスルーを。

アンケート？ 東専用IS「ダブルオークアンタ」のワンオブアビリティについて

我等がうさみみ天才お姉さんこと東さん専用の第零世代IS「ダブルオークアンタ」のワンオブアビリティについて複数の案があります。好きな方感想欄に書いてくれば、票数多い方をワンオブアビリティとして採用します。

？ブルーディステニー系のEXAMシステムをワンオブアビリティとする

？センチネル系の自律制御システムALICEをワンオブアビリティとする

？00の劇場版の様に相手の無意識領域への精神対話をし、相手の行動を読み取る力をワンオブアビリティとする

？相手のISのコアに介入し、相手の武装を完全に無効化した後にISを強制解除させるシステム「cord:AMS」をワンオブアビリティとする

？Gジェネworldでダブルオークアンタのトランザムを使った最早、苛めにすらならないエネルギー攻撃をワンオブアビリティとする。

（作者はPVでダブルオークアンタのトランザム攻撃を見たときにびびりました。で、ハルファスガンダムに撃ってその威力にさらにびびりました。）

ISの世界にはGN粒子は存在していませんのでGN粒子の変わりにクオークマシンを使用しています。一応、クオークマシンはGN

粒子よりも遥かに小さいので、擬似GN粒子を生成したのでそれをつかっています

アンケート？ 東専用IS「ダブルオークアンタ」のワンオブアビリティーにつ

ああ、会社で4日籠りっぱなしで仕事……。早く家に帰ってエロ
ゲをしたい！

ルルイエ1（前書き）

・・・ごめんなさい。文の6割が自己解釈です。ですがクオークの系統の性質の解釈と原子に原子を内包するお話は本物です。

さすがに量子宇宙論や空間認識法は細かく書くと、とてもじゃないけど文章が足りなくなるので簡潔に

お話に、オーガスト・ダーレスのクトゥルフ神話のお話が出てきます。Call of Cthulhuの方を出しても良かったのですがあつちの方は設定がかなり無茶ぶりなんでまだ分かりやすいダーレスの方にしました。

ああ、残業なくらいかな・・・

ルルイエ1

「じゃ、話そうか・・・」

「しかし、まさか一夏がISを開発するとは・・・」

まあ、転生のおかげだが、とりあえずはファントム・タスクに脳を弄られた説明したが・・・

「でも、いつくん、いつくんが第零世代が開発ができると言うことはファントム・タスクも開発できるということだよね？」

「いや、それはないよ。東さん。オリジナルの考えもいれているから」

「そうなの？いつくん。」

「ほら、東さんが第四世代ISの展開装甲と擬似 粒子ドライブも東さんのオリジナルでしょ？」

「あ、そうか。でも 粒子ドライブはまだ完全じゃないんだよねえ。どうしてもオーバーバーストが発生してプチビッグバンが起こるんだよねえ。ねえねえ、いつくん、なんかいいアイデアない？」

「うーん、 原子の中に 原子を入れてパラダイトフラッグを形成して、 の電子と の電子をクオークマシンに変換してみればどうですか？」

「・・・！、さっすがいつくん！。原子に他の原子を内包した上にパラダイトフラッグを形成して二重構成にして原子自体の耐久度をあげるんだね！」

「・・・束、一夏、もう少し分かるように説明してくれ。」

「あはは、ごめんちーちゃん。久しぶりに興奮したから。」

「ごめん、千冬姉。」

「いや、一夏は別にいい。後で一緒にお風呂に入ろう。束、つまり粒子ドライブがオーバーバーストを起こし炉心溶解を起こすから原子の中に原子を入れて原子を強化するという事か？」

ん？・・・！千冬姉、さりと今一緒に入ろうとか言わなかったか？

「んー、惜しい！。でも流石はちーちゃんだね！。パラダイトフラッグはね、電子構成の情報因子を書き換えて一種の新しい電子を生成する技術だよ。情報因子を書き換える粒子演算によっては情報因子はその特性がバラバラに発現するんだよ。同格一定の演算方式を行うと滅茶苦茶強い電子が生成されるんだよ。」

「・・・束、私にそれを理解しろというのか？」

千冬姉は呆れた顔をしている。そりゃ、そうだ。クオーク単位での粒子演算が必要だからだ。

私でさえもPMISを起動させないと電子単位の情報因子の書き換えるなんて芸当はできない。完全に至った織斑一夏なら簡単に行うだろう。

「うーん、でも問題があつてね、物体は人間が認識して初めてこの世界に存在が確立されんだよ。」

「量子宇宙論の地球版みたいなものか？」

「いやいや、千冬姉、何で解るの？」

「惜しい！、ちーちゃん良いとこまでいつてるよ。いつくんはわかる？」

「・・・本来は物質は曖昧。人間がその物質を認識することで2次元上、また、三次元上で存在が確立される。でも 粒子はまだ完全に物質としては確立されていない。未だに仮想的な存在。故にその粒子を地球上で取り出す又は抽出することは不可能、ということかな？」

首を斜めにしながら答える。

「・・・千冬姉と束さん、鼻を押さえながらハアハア言うはどうかとおもっぞ。」

「・・・くっ、あれは反則だ・・・、今すぐ一夏の頭を胸に埋めてモフモフしたい！」

「ハアハア、いつくん、かあわいいよ」。今すぐお持ち帰りした
いよ！」

千冬姉、それは止めてくれ。理性が持たない。あと束さん？キャラが変わってないですか！？それ鈍少女の台詞だから！

「でも、東さん、本来存在しない物質はどう生成するの?」

「んー、そだね、暗黒物質を代用しようかとおもったよね。」

「ちょっと待て、暗黒物質はまだ、未解明の物質じゃないのか?」

「ふふふ、この天才の東さんは暗黒物質位なら解明できるよ。あれは一種の重力因子だよ。それを高速でぶつけるとどうなる?」

「ブラックホールエンジンか?。一夏が開発した」

「そうだよ。いつくんが暗黒物質をクオーク単位で分解したら暗黒物質の正体分かるって言うから解析したらビンゴ!って言うわけだよ?」

うむ、これ以上話が脱線すると時間が足りないな。

「千冬姉、東さん、話を戻していい?」

「ああ、一夏すまん。続けてくれ」

「うん、続けて続けて」

よし、あそこに移動しようか。

「千冬姉、東さん、今から空間転移するからこつちきて」

「「「.....」」」

二人が固まる。そりやそうだ。あれは複数転移するのなら相手に強く抱き締めないといけないからな。構わずに空間^{シルバーヘッジ}転移述式を起動させ、あの島の座標を術式に組み込み、無理矢理二人の腰に強めに抱きつき、

「……（ブバア！）」

なんか液体の噴射音がしたが気にしない。というか気にしたらキリがない。

束さんと千冬姉と私の体が量子変換されて転移座標に体を転移させる。

その瞬間に織斑家から三人は消え去った。

光が弾け、脳に視野からの情報が入る。うん。ちゃんとあの島だ。

千冬姉と束さんは鼻を押さえている。……指の隙間から赤色の液体が滴り落ちているからあまり意味はないが

「い、一夏……いきなりは止めてくれ……鼻から愛情が吹き出るではないか！」

「そうだよ、いっくん！。思わず頭がぱーん！ってなっちゃうよ！」

いや、そう言われても……

「で、一夏、ここは一体何処だ？」

「うん、それは私も思ったよ。衛星から探査出来ないから。」

「ここはね太平洋の南緯47度9分 西経126度43分、ニューヨーク・ランド・南米大陸・南極大陸の中間付近、実際には太平洋到達不能極に程近い絶海の海域にある島だよ」

「・・・・・・・・」

二人とも固まる。そりゃそうだ。この島は実際にはありえない場所に存在するのだから。

島の奥の方には異常極まりない非ユークリッド幾何学的な外形を持つ多くの建造物からなっている一種の城がある。

常人がこの島に近づくだけで精神が沸騰し、死亡するが、ここは最早、主がいない只の神殿。空間魔術で空間を隔絶すれば問題ない。

織斑一夏の記憶を探るとある文献が出てくる。”ルルイエ”に関する記述だ。嘗て地球を支配した外なる神々の一柱にして水を支配し、ルルイエにて眠り、復活を夢見る神性・クトウルフ。さらに、魔導書や旧支配者達の記述なんて馬鹿げた物もでてくる。

しかも、中にはその旧支配者と戦った記憶まで存在する。・・・どれだけ命知らずなんだ？他の織斑一夏は？

・・・・・・・・とりあえず千冬姉と束さんが帰ってくるまで待つか。

ルルイエー（後書き）

すいません、先に謝っておきます。

次はスターゲイザーのお話ですが、かなりの無茶ぶりです。

世界（前書き）

福岡県に仕事で行ってました。

今回はしゅぶれ〜むキャンディのキャラが出てきます。

ヘスぺラスエンドで優がそのままジャックの力を持ったまま邪神と鎌と一緒に旅をしている途中で出会ったというＩＦ設定です。

あと、途中で出てくる数式は適当ですwww。

世界が俗っぱいのは、ネタです。

一夏は激しく転生者アンチです。

転生者によって崩壊した世界を何度も見ているのでアンチと言うよりも転生者＝排除すべき存在です。

一夏の考えはその世界を構成するのは、その世界の住人。という極めて頭でっかちな考え。

ガイヤは世界を破壊する、神を超越した存在。

テレスは世界を創造する、神を超越した存在。

この2つの存在は世界と同等の力を持っているために、常に世界を管理している。

あんまり、転生者が好き勝手にやっていると、世界の軸が歪み、世界が崩壊するので、ガイヤが世界を破壊してテレスが世界を創造して崩壊を防ぐ、という循環。

それを防ぐのが、優や一夏の役目。

世界

まだ千冬姉と束さんはまだ呆然としている。

あと少しはかかるか。その間にスターゲイザーの展開を行うか。

11次元格納からスターゲイザーを展開し、現実を展開する。

スターゲイザーを起動する。

すると初期起動する。

《ordinal ZERO generation・first
system stage boot...》

と表示され、第一システムが構成されていく。

ふと、旧支配者が残した遺跡や神殿について考査する。

旧支配者は空間の固有空間の存在確立因果律を通常空間から隔離してその空間自体の時間そのものを止めている。

それは、あくまでも彼らの神具を使用した場合だ。

そうになると、ダルトカイト然り、ハスターが管理するセラエノ魔導図書館といい、どうやったら空間から隔絶できるのやら。

（ダルトカイトはBOOK・OF・Eibonにてくるルルイエです。正確に言えばル・リエーです。）

まあ、crawling chaosとかは簡単に空間隔絶を起こすからな。あの三つ目の黒猫は。

それに旅先で永久の友となった優は完全体に至った織斑一夏が使う真理解放の述式に最も近い述式「Vi Veri Vivimus Vici」を使って時空連続体の固有空間の宇宙存在確率因果律を丸々書き換えて、新しい空間を創造するというチートレベルの魔法を使うからなあ。

前に転生者がShining Trapezohdronを使って好き勝手にやってて、それを無効化してフルボッコにしてたなあ。

・・・今考えたら世界に認められてる転生者を消すので一番強いのも優じゃないのか？あの宝石翁を一瞬で倒すぐらいだからなあ。

それに優にAtroposとヘスペラスがついてるから無敵じゃないかと思う。

まあ、優は私に未来に存在する科学の真理を貰う代わりに旅先で手に入れた五つの魔法さえも侵入を許さない鞘の剣の原型になった剣をあげたら、

「こ、この剣は・・・！。一夏！これをついでに渡す！」

紙にとある魔法式が書いてあった。

これは数式改遅法で暗号化してある・・・。

「これは一体なんだ？」

「それはね、僕と悠莉さんが開発した、あらゆる手段を使おうが知ることができない魔法式。この式を他の魔法使いが知る確率は並行宇宙上に一つも存在しえない式。」

「その名は、《多次元並行世界時間跳躍抽出光塵反射術式》だよ。」

「なんだその辞書を引いて出てきた文字をパツと並べたような魔法は?。」

優は苦笑いをして、

「まあ、確かにそれは否定できないけどね。でも凄い魔法だよ。」

「そうなのか?」

「うん、時間跳躍魔法と並行宇宙跳躍を同時に行いながら、時空に存在する光を抽出してそれを原子核レベルまで分解して、特殊な螺旋軸で螺旋させて莫大なエネルギーを得るという魔法だよ」

「ちょ、おま!、今さらりと蓄神でもないと出来ない魔法を並べたよな!?」

宝石翁でも同時施行は不可能だぞ!?

「そうでもないよ?。文字一つに何百万の魔法的意味を持たせているだけだよ。」

「え!?」

それって、一種の魔導だよな!?

よく暗号化文の見る

2 2 8 8 8 8 1 1 1 2 2 8 8 8 8 1 1 1 5 5 8 8 8 8 9 9
4 4 4 9 9 8 8 8 8 8 1 1 1 (0 " " 0) 3 3 8 8 8 8
8 6 6 6 9 9 9 9 0 0 0 0 7 7 7 2 2 8 8 8 0 0 4 4 4 4 1
1 " (2 2 2 6 2 7 7 7 8 C) 1 1 1 1 1 1 1 4 4 4 4 1 1
1 5 5 6 1 1 1 1 1 1 1 4 4 4 4 1 1 1 4 9 9 9 8 8 1 1 1 1
0 0 0 ÷ (6 6 3 8 7 7 7 9 9 2) " X 0 . Z 0 . Y 0 .
R 0 " Y 6 6 6 6 6 9 9 9 9 9 3 3 3 " 7 7 7 7 7 0 0 0 3 3 3
4 0 0 0 0 0 6 0 0 0 4 0 0 0 0 0 " 《 《

・・・普通では絶対理解不能だな。これ。

「これどうやって解読するんだ？」

時間軸並行式を代入して数字置換で並行演算をするのか？

いや、それでは が変数によって に変化するからそうすると
多次元宇宙そのものを量子レベルで分解されるな。

「螺旋式 " 0を並行宇宙空間にある時間軸と空間軸に の
値を代入しつつ、 の並行演算の値を螺旋界認識転移システム
に認識させて、その空間軸を転移させる。あとは、光を魔術的に分
解するだけ。」

・・・え

「・・・それ、思いつきり量子宇宙論と相対性理論と波動時間軸論
理を無視してるよな!？」

「いや、元々、僕達の存在そのものが現存してる理論を全て否定してるようなものだから」

・・・反論できん。

・・・なんてことがあったな。

ふと、束さんと千冬姉を見る。

！？

二人の空間認識魔法式が書き換えられているだ！？。

しかも、世界からの直接的な魔法的介入、一時的な多次元宇宙迷宮への精神の強制転移！？。

「世界よ、これはどうゆう事だ！」

すると全方向から声が聞こえた。

《知らないのか？この世界の瘴気が人間の精神が簡単に沸騰するレベルだぞ。》

え？、まじ？

《ああ、本当だ。このレベルの瘴気が地上に撒かれれば人類は数分で滅ぶぞ。故に二人の精神を別次元に跳ばしている。》

そうか、それはすまなかった。

《いや、別によい。今から私は限定予約使用のゲームを買いに行く。暫くは出れないが気にするな》

おいおい、世界が気軽にゲームするなよ。

《私も意思を持っているから俗な者はしてみたいのだよ。》

世界よ、

《なんだ！》

L i m i t e d e d i t i o n i t e m r e s e r v a t i
o n s a r e o n e p e r p e r s o n !

《わかってる。限定品の予約はお一人様一つ限り、だろう？》

しかし、そこまで俗っぽいと危ないか？

《安心しろ、神々は暇な時にPFPで狩人をしているぞ。》

おいおい、仕事しろよ、神！

《でわな、織斑一夏。・・・気をつけろ、織斑一夏。転生者が近い内に転生してくるぞ。俗に言うチート転生者だそうだ。》

ふん、転生者か。神々も落ちたもんだな。人の事は言えないがな。

《そう言ってやるな。神々といえ、元は人間的な存在だ。例え、どんな高位な神でも過ちは犯す。それに、お前の場合はガイヤとテレビと私が話し合った結果だ。》

合法的強制転生か。世界の崩壊を防ぐ為とは言えど納得している自分
がダメな気がする。・・・もう馴れたが
しかし、転生者は抑止力や修正力が働く事が理解しないのか？下手
をすればガイヤが働くぞ。

《神々は理解出来ないのだよ、その力と慢心によってな。まあ、言
うな。こちらから見れば、世界が崩壊するのは大事だからな。1つ
が崩れるとそれが連鎖式に世界が崩れていくからな。》

難儀なものだな・・・

《まったくな。・・・でわな》

世界の気配が消える。

懐から猫を召喚する。

にゃー

その瞬間に猫は口から泡を吐いて光に消えた。

・・・確かにヤバイな。これは。

《ordinal ZERO generation first
system stage boot end,
second system stage program up
Data disk please!》

ん？、第一が終ったか。

懐からupData programが入ったメモリーを取り出し、
スターゲイザーに入れる

《...loading...》

second system stage program up
Data start...》

よし、ワールド・メルト浄化術式起動・・・

上空に巨大な魔方阵が現れ、世界を浄化していく。

さて、数分はかかるか・・・

世界（後書き）

仕事がしんどい・・・。

なんかMHP3rdのアカムが弱体化したような・・・
一撃死の攻撃は健在しているが・・・

翠玉碑（前書き）

感想文を下さった皆様、ありがとうございました。

今回は11eyesRFの設定が出てきます。

リーゼロッテ&リゼットが可愛すぎて久し振りに萌え過ぎて悶絶しました。

ベエラードがかっこよすぎてびっくりしました。却の眼強すぎ。

今回は短めです。

昔のエロゲを発掘したのでやってました。

じゃんがりあんRとがっちゅみりみり放送局が面白すぎて笑いこぼしました。

宴会収録は腹筋崩壊します。www。

今回は外伝です。

練鉄の英霊 VS 織斑一夏 です。

織斑一夏が固有結界を発動させます。

一夏の属性が幻想なので、太田順也でピンと来る方は昔の魔理沙もはっちゃけぶりがわかるはず。

元本はあるけどPC-98が動かない・・・

翠玉碑

さて、もうすぐ空間の浄化が完了する。

ダブルオークアンタのupdate programをinstallしている間にダブルオークアンタにとある魔道具を埋め込む。

スターゲイザーは最終処理のみなのでダブルオークアンタを先に完成させる。

遙かは昔にエジプトの女王によって碎かれ、十二個の破片となって散逸してしまった究極の魔石。

その名はダラス・スマラグデイナー。

別名、翠玉碑とも呼ばれ、錬金術の奥義と秘奥を記したエメラルド・タブレット。

あの教皇様は観測機とかいってたな。

この石には数々の逸話が存在する。

ドラスベニア王国に伝わる、未来を見通す力を持ったと言われる「金眼の魔王」の伝説、

聖地ラリベラの地下墳墓に封印され、かつて、たった一夜にして岩山に七つの教会をくりぬいた「翠のオルトドクス（十字架）」、

中国は担山の奥深い山腹の迷宮に伝わる、郭樸が残したあるゆる未

来を解釈できる遊仙詩の「翠玉の石敢富」、

チングス・ハーンの産血石と共に祭られ、一心に願えば、五千の馬が大河を瞬時に渡った征西によって得た「西方のユルール（福緑石）」、

など、驚異的な力を持つ。

私が持っているのは、ゼバオトの指輪を嵌めている神殿の主であり、悪魔72柱を使役した真鍮の壺を持つ者、ソロモンがかつて、蠅の王を使役した時に彼の首に架かっていた翠玉碑の破片を駆の却の眼を使い、複数の欠片に砕いた。

ダブルオークアンタの魔術回路に膨大な魔力が流れ、複数の駆動炉が起動する。

光子ドライブと超螺旋エンジンが起動して膨大なエネルギーが発生する。

《ordinal ZERO generation second system stage boot end... ordinal ZERO generation last system stage last transaction start... all stage completion!... Activation!》

ダブルオークアンタが起動し、世界に対して産声をあげる。

キイイイインッ

ダブルオークアンタがクレセントブルーに淡く光る。

さて、あとは千冬姉と東さんが帰って来るのを待つだけだな。

翠玉碑（後書き）

リアルで忙しい・・・

あ、かのんちゃん、の夏色サプライズ買ったけど聴いてないや。

幻想（前書き）

感想、ありがとうございました。

今回も誤字・独自解釈のオンパレードです。

友人から、宝具と幻想殺し、どっちが強いかなあという言葉聞いて宝具VS幻想殺しを思い付きました。

とあるシリーズの能力を魔術化しました。疑似空想具現化みたいな形にしました。

魔術の基本概念はオーフェンとf a t eの混合型みたいな感じです。

オーフェンではコルゴン、コミクロン、チャイルドマンが大好きです。

ユニコーンには常時的な疑似空間屈折絶対防御と原本とまでは行かないけど疑似全て遠き理想郷（原本の30%位の性能）が展開しています。

体にはカルテットマジック（四重奏魔術）が常時かかっています。

正直言うと、ISの絶対防御なんてオーフェンやf a t eの魔術や宝具を受けたら一瞬に砕けちると思うので。

男の娘一夏にツインエンジェルの遥の服を着せてみたい！。

ちなみに一夏の髪型はポニテとストレートとリドバスEXの沙耶の髪型、とこの3つです。

変態ロリコン騎士、黒のお姫様に使える白騎士。

幻想

世界が構成され、織斑一夏が構成される。

五感が次第に研ぎ澄まされていく、

後に体が幻想から現実に侵食されて織斑一夏が完成した。

ここは・・・どこだ。

あの俗っぽい世界が管理する世界とはまた別の世界が管理する世界か。

ふむ、まだ知的生命体が確立していない地球か。

さて、どうするかな

その瞬間に世界が震えた。

桁違いの魔力が走り、星を守りし者が降臨する。

「ふむ、珍しいな、英霊エミヤ。アンタがまさか掃除屋として出てくるとはな」

そこには赤い外套を纏い、凄まじい魔力を纏った英霊がいた。

「そうかね？、この世界が貴様を良く思わなかったのだろう」

「まあ、本来はまだ知的生命体が誕生していない時代だからな。し

かし、随分と保守的な考えだな。」

「私はあくまで世界の意思に従うまでだ。」

そういつて赤い弓兵は

「投影・開始」

その両手には白と黒の陰陽剣、干将・莫耶が握られていた。

「排除する気満々か。」

そっちがその気ならばいいだろう。

ならば、その目にしかと焼き付けよ、この白き幻獣たる一角獣の力を、その身に刻み付けよ、貴様と同じ掃除屋の力を、我が一撃一撃に恐怖を覚えよ、かの竜の因子をもつ騎士王を地に伏せた白銀たる剣の輝きを・・・

起きろ、我が愛しき一角獣

その瞬間に膨大な魔力が逆巻き、純白の一角獣を模した機体、ユニコーンが織斑一夏の体を包み込み、全身を白く染めてその姿をこの世界に顕現する。

全身を包み込むような白銀のフル・スキン。

頭からはまるで一角獣の白銀の角を現すような角。

その姿はあらゆる者を屈服させ、まるで白銀の王。

左手に雪平零式を顕現化させる。

限界まで魔力と螺旋力で強化している為に雪平零式は元の色を止めていない。

その色はまるで、「冒瀆的な黒」。

これならば練鉄の英霊が使う宝具にも対抗しえるだろう。

「さて、英霊よ、我が連載を受けてみる」

「ふん、戯け。」

その瞬間、

ガキンッ！

鉄と鉄がぶつかり合う音が響く。

英霊が瞬動と縮地を同時に行い、瞬時に閃光に匹敵する黒と白が走る。

ならば、雪平零式を斜めに滑らせて、双剣を受け止めて、柔の力法を利用してエミヤをひつく反すが空中で姿勢を変えて双剣で斬りかかる。

しかし、雪平零式を衛切式に薙ぎ、そのままに弾き返したが、そのまま体を捻り双剣で斬りかかる。

ならば

雪平零式をあの物干し竿を使う剣士が秘技を放つ型を再現する。

「なにっ!？」

急いで身を引こうとするがもう遅い。

この身は未だにあの剣士までは至ってはいない。

ならば、その業を、技を、豪を真似ればいい。

雪平零式を一撃に振る。

その刹那、六つの斬撃が同時に走る。

多重次元屈折現象。

第二魔法を魔法や魔術を使わずに純粋な技法で再現する究極の秘技。

英霊は避けれないと判断し、干将・莫耶で捌き、

バキンッ!

「まさか、貴様が多重次元屈折現象を再現するとは」

干将・莫耶は碎け散ったようだ。

「こつちからすれば多重次元屈折現象を干将・莫耶で全て受けきったアンタに吃驚したぞ」

ならば、・・・

どうやら、エミヤも私と同じ考えだったようだ。

ユニコーンのバーニアを吹かし、上空へと飛翔する。

同時に

投影・開始

天駆ける白鷺。

エミヤの両足に白とも金とも取れない白金の羽が生える。

エミヤもユニコーンに匹敵する速度で飛翔する。

I a m b o n e o f m y s w o r d

「全投影連続層写」

エミヤの周りに二十七の剣が現れる。

・・・宝具のオンパレードか。

偽・螺旋剣、破魔の紅薔薇、突き穿つ死翔の槍、夜霞の聖水剣、必然された勝利の剣、約束された勝利の剣、魔剣ニアダーク、不滅の聖剣、轟く五星、童子切安綱、火車切り、神見落とせし誓い、そして超一級概念武装が浮かぶ。宝具と概念武装のオンパレードだ。

「随分と大売り出しだな。」

「ふん、出来るだけこの世界では固有結界を使いたくないのでな。」

「くっ、上等だ。」

魔術回路に莫大な魔力を流し込む。

干将・莫耶なら耐えただろうがエミヤの周りに浮かぶは干将・莫耶とは比較できない魔力と神性を保有している。

織斑一夏が持つ純粋的な宝具の一つ。

あの変態ロリコン騎士がくれた対宝具用の宝具殺し・宝具破戒する却の翡翠剣ならばあの宝具達を破壊するのも容易いだろう。

だが、あの剣は宝具を破壊した分の魔力を持っていかれる。

もし、エミヤが固有結界を展開した時には織斑一夏も固有結界を展開しなければならぬ。

一時凌ぎだがあれを使おう。

幻想を現実侵食させて世界に対して改竄を行い、疑似空想具現化。もっと詳しく分類分けをすれば、

一方通行、未完成物質、原子崩し、超電磁砲、心理掌握、元素支配、重力制覇、数観演能、幻想殺しと九つ。

これらを総合した魔術、幻想魔術。

その力は第六法にも匹敵するが魔力をバカみたいに持っていかれる。

織斑一夏の魔力なら固有結界の展開魔力を除けば、一方通行を二つ起動させるのが限界だろう。

たとえば、ユニコーンの魔力供給を全開にして魔術回路に流しても、精々、一方通行、未完成物質、幻想殺しが限界だ

・・・捨て身覚悟で幻想殺しを発現させるか。

幻想殺しならあの宝具や概念武装を消しえるだろうが、魔力が持つかどうかだ。

・・・・・・よし。

魔術回路に魔術を流し、世界の情報を改竄する。

魔術回路・フルドライブ！

「む！？」

エミヤが顔をしかめる。

「くっ、疑似的な空想具現化か。」

「ああ。おまえの剣の幻想と私の幻想。どっちの幻想が強いか。」
するとエミヤがニヤリと笑い。

「いいだろう。英霊たる私の幻想を受けてみる！」

二十七の宝具と概念武装が同時に織斑一夏に飛翔する！。

幻想殺しに対する魔力供給を限界まで引き上げる。

余りの幻想殺しの力に周りの魔力が消滅する。

宝具と概念武装が音速を越えたスピードでこちらに飛翔する。

二十七の幻想と幻想殺しの幻想がぶつかり、
その刹那、世界が、夜が、明けた

後編に続く・・・

幻想（後書き）

仕事で多少間が開きます。

仕事が忙しい・・・

幻想？（前書き）

今回は固有結界です。

英文は少々訳していると日が暮れるのでパツと頭に浮かんだ英単語を並べています。文法がおかしいとか、あれ？これ読めなくね？とか、この単語間違ってるね？とかは華麗にスルーしてください。

もしこれ、いくない！と言うお方は脳内補完してください。

妄想は変態と言う名の紳士への第一歩だ！

溜め撮りしていたロウきゅーぶ！をこの休日を使って消化していました。

原作から読んでいましたが、私が言いたいのは一言。

「まったく、二次元の小学生は最高だぜ！」

です。

・・・思わず叫んでしまいました。

余りに智花とひなたがレベルが高かったので・・・

花澤香菜さんと小倉唯さんが凄く役にはまってびっくりしました。端からみると警官のお兄さんが飛んできそうですねw。

自分も小学生の時にこのぐらいの青春が欲しかったです。

ロウきゅーぶ！のPSPも発売されるらしいですな。

電撃文庫の広告欄を見て吹きました。

ていんくるさんじゃないか！

また、買うものが増えてしまった・・・

あとでアニメイトでRO-KYU-BU!のCDを買いに行かないと。

ツインエンジェル3の金朋がびっくりするぐらいキャラクターに似合ってて吃驚しました。

白七が何故か中段だけ揃わないorz。

C3のフェアは可愛い。

幻想？

まるでこの世が明けたかのような光が世界を照す。

無理もない。複製とは言え宝具や概念武装と魔力を完全に消滅させる、星が飽和状態となった魔力を完全に消滅させる魔法を再現したのだから。

爆風が消え失せ、織斑一夏が現れる。

「くっ、やはり全ては防ぎきれなかったか。」

所々、装甲に罅が入り、肩に紅い槍が貫通していた。

白銀の装甲を赤い命の水が流れる。

「んっぐ、ぐああ！」

槍を引っこ抜くと血と肉片が飛び散る。

ナノマシンで傷は塞がるが完全に組織が回復するのには時間がかかる。

それにエミヤも無事とは行かなかったようだ。どうやら幻想殺しの余波を受けたらしい。

肩から10cm程、肺に向けて体が裂けていた。

「くっ、やはり一筋縄とは行かないか。」

だが、流石は英霊だ。魔力で自己崩壊効果を防いでいる。

並みの死徒や魔術師、魔獣なら一瞬で自己崩壊効果で塵になる。

・・・流石に二十七祖は自己崩壊効果を付加した攻撃をしても自らの膨大な魔力でそれを阻害するかなあ。

「仕方があるまい、我が魔術の奥義を、剣の王国を、剣軍の力をその目にご覧入れよう」

！？、まさか固有結界か！。

くっ、NT-Dを発動しないと固有結界を発動できないか。

ならば、・・・

「英霊よ」

「なんだ？」

英霊は悪巧みを思い付いた顔をしている。

・・・どうやら、こちらの手はばれているようだな。

「ここは一つ、固有結界の勝負と行かないか？」

エミヤはニヤツと笑い、

「いいだろう。貴様の心を、心情を、世界を見せてみる。この英霊たる私に！」

本来、魔法使いや二十七祖、精霊や悪魔でなければ固有結界を使えない。

いや、魔法使いや二十七祖でも使えるのは本の少数だ。

宝石翁の宝石世界、プライミッツの絶対王権、黒の姫君の月界讃美歌、ORTの水晶溪谷、変態ロリコン騎士の幽霊船団、アインナツシュの密林帝国、蒼の死神の七夜の楽園、白の姫君のグナーデン・シュトースなど。

そして、英霊達の歴史の結果とも言える固有結界。

固有結界とは、千の永劫を重ねても会得できない魔法に匹敵する魔術。

それを一介の魔術師が発現させるのだ。

万の讃賞を持ってもまだ讃賞を得れる程の物だ。

「NT-D、発動。」

ユニコーンの白い装甲から淡い朱の粒子は放たれる。

膨大な魔力と螺旋力が装甲に走り、傷ついた装甲は瞬く間に修復されていく。

（ユニコーンの変形シーンはエピソード2の「赤い彗星」をご覧ください。）

装甲がスライドして中の紅く光ったサイコ・フレームが現れる。

ガッション！

ガッション！

足、腕、胴体、顔の装甲が可変して完全体に変形する。

最後にユニコーンを示す一角がガチャン！と観音開きに開く。

その角の中身は黄金色に輝いていた。

それは「絶対の破壊」を示す者。

桁違いの魔力を体から発しており、その魔力はラスト・ファンタズムに匹敵する。

「ほう。・・・魔力はあの騎士王に匹敵するか。」

エミヤは愉快そうに笑う。

まったく、その笑顔が今は非常にムカつく。

「まあ、いい。じゃ始めようじゃないか。」

エミヤは肩の力を抜き、

「ああ、始めようか、どちらの幻想が強いかを」

私とエミヤは詠唱を唱える。

(エミヤは英文付きですが、一夏のは、一々日本語を英訳すると日が暮れるのでパツと頭に浮かんだ英単語を適当に並べただけです。文法がおかしかったり、単語の意味が違う！とかあれ？これ読めなくな？があつたとしても華麗にスルーしてください。これ、いくない！という人は脳内で英文を正しく脳内補完してください。ご了承下さい)

I am bone of my sword .
体は剣で出来ている。

I am world of fantasy ,
『私の世界は幻想で出来ている。』

Steel is my body , and fire is my blood .
血潮は鉄で 心は硝子。

this body all sorts of fantasy ,
『あらゆる幻想が集まり、この身を造る。』

I have created over a thousand blades .

幾たびの戦場を越えて不敗。

dreamland continue of star of
fantasy , human of fantasy ,
『無限にも続くは星の幻想にして、人間の幻想。』

Unknown to Death .

ただの一度も敗走はなく、

human fantasy of in every way
fantasy to excellling ,

『人間の幻想はあらゆる幻想を凌駕する。』

Nor known to life .

ただの一度も理解されない。

but one's own fantasy not over ,

『しかし、自らの幻想を超える事はない。』

Have withstood pain to create
many weapons .

彼の者は常に独り 剣の丘で勝利に酔う。

I therefore personal fantasy o
ver essentially fantasy to sei
ze ,

『故に私は自らの幻想を越えて本来の幻想を掴む。』

Yet, those hands will never hol
d anything .

故に、生涯に意味はなく。

so I am one's own understandin
g ,

『だから、私は自分を理解する。』

S o a s I p r a y , u n l i m i t e d b l a d e w
o r k s .

その体は、きつと剣で出来ていた。

m y w o r l d o f ” i n f i n i t y f a n t a s y
c r e a t i o n ”

『私の世界は、無限の幻想で創造されていた。』

エミヤは空間展開型の固有結界。

空は錆びた鐵の色を示し、大量の齒車が回っている。

地面には草一つ生えていないひび割れた大地。

草の変わりに古今東西の剣、槍、斧がまるで墓標の様に聳え立っている。

対して一夏は身体融合型固有結界。

ユニコーンの装甲が、見る方向によって、まったく別の機体に見える。

ある方向からはダブルオークアンタ

ある方向からはハルファス

ある方向からはタイタニア

ある方向からはZZガンダム

ある方向からはフェニックス

ある方向からはザンスパイン

ある方向からはE x - s

ある方向からはゼク・ツヴァイ

ある方向からはF 9 1

ある方向からは

ある方向からは赤椿

ある方向からは蒼い雫

ある方向からは白式

ある方向からは甲龍

ある方向からは霧纏の淑女

ある方向からは黒い雨

ある方向からは銀の福音

ある方向からは打鉄式式

ある方向からはラファール・リヴァイヴ・カスタムII

ある方向からは暮桜

ある方向からは白騎士

とあるゆる角度、360°からの機体の見え方が違うのだ。

幻想とは本来、無限の可能性を含んでいる。上記はほんの一部だ。

それは意味するのは、その機体全ての特殊な力や攻撃全てを行える
と言うことに尽きる。

「あらゆる幻想（この世界に存在しないが多次元には存在するので
幻想と世界に認識される。またこの世界には存在するが多次元で見
たもので同じものはこの世界には存在しないのでまた、これも幻想
と認識される）が集まる。」

多次元や並行空間を時間旅行・多次元旅行をしている一夏の歴史そ
のものを具現化した物だ。

エミヤは驚きながら、呟いた

「それが貴様の心情、いや、世界か！」

「ああ、そうだ。」

エミヤは満足したように笑い、

「素晴らしい！。多次元世界の記憶の再現か！」

なっ！？。 たった一目で他人の固有結界の本質を見抜いただと！？

「バカな！？。 一目で他人の固有結界の本質を見抜くなど不可能なはずだ！」

エミヤは心底、ムカつく笑いをして、

「忘れたか？私は解析にも特化しているのだ。 幾重にもものぼる固有結界をみればいやでも解析はできる」

くっ、そういえば、エミヤは解析にも特化していたな。

だが、そうなる、この固有結界の弱点も見抜かれているはずだ。

まずは展開時間だ。

ユニコーンの供給を受けたとしても精々、10分が限界だろう。

恐らく、エミヤも同等の展開時間と考えていいだろう。

それに、幾ら固有結界展開時でも機体の攻撃や特性は同時に3つ以上は起動できない。

さすがに、脳が耐えられないのだ。

神経を疑似魔術回路に変換しても人間の脳の容量は精々、1400ccから1600ccなのだ。

故に脳の回路が耐えられないのだ。

「まあ、いい。ここからは私の幻想で語り合おう。」

エミヤは左手を掲げ、

「いいだろう。貴様の幻想の力を私に見せてみる！」

「いざ、勝負！」

l a s t s t a g e n e x t g o . . .

幻想？（後書き）

そろそろパソコン買えないと。

5年前に買ったpenXE 960の3・2のじゃそろそろ限界が・
・

主はIntel信者なのでサンデーブリッジでも買おうかな？

ちなみに主は自作中毒者でもあります。

でもサンデーブリッジはあんまり良い評判聞かないからi7辺りが妥当かな？

うーん、決まらない。

宝具破戒する却の翡翠剣（前書き）

携帯を間違ってトイレにドボンさせて、携帯を新しく変えたので時間が掛かりました。

今回も独自解釈と誤字のオンパレードです。

なんかアクセス解析を見てみたら、

PV：114,206アクセス

ユニーク：20,215人

という感じに・・・

こんなオタクの妄想を読んで頂いてありがとうございます。

感謝感激雨霰です。

ぶっちゃけ外伝は時系列を無視しています。

主の中では

プライミッツ《真祖姉妹》ORT《宝石翁》トラフィム《魔法使い》
《ナレバツク》クーガー《他の二十七祖 英霊》魔術師という感じ
です。

C3を見ながら最後のシーンが原作と同じで見ながらニヤニヤして
ました。

免罪機構とか出てくるのかな？

でも免罪機構をフィアに組み込むシーンはアニメで放送できるのか？

またこの頃ラノベを読む時間が増えた気がする。

宝具破戒する却の翡翠剣

そこは決戦場だった。

ビームライフルの赤い閃光とビットとドラグーンから蒼い閃光が走る。

それを迎撃するのは宝具と概念武装。

莫大な魔力を纏い、空間を裂きながら飛翔する。

その2つがぶつかり、

極光が走る！。

ドカアアアアアアアン！！！！！！！！！！

「くっ、面倒だな。」

エミヤが微妙な顔をする。

そりゃあ、そうだ。

さっきから宝具と概念武装とMSの兵器のぶつかり合いがラッシュの様に続いている。

「流石は宝具だな。疑似宝石剣に匹敵する斬撃を相殺するとわな」

宝石剣は一撃が青の魔法使いの砲撃に匹敵する一撃なんだが、

なんせ相手は投影と言え、英霊が愛用した至高の武器や数々の歴史を内包し、意味を概念化した武器なのだ。

これは、rank A+以上の魔術で決めるしかないか。

もし、駄目だったら究極の対魔術術式「意味消失」を発動すればいい。

エミヤもこのままでは消耗戦になるという結論に至ったのだろう。

ならば・・・

イグニッション・ブーストと瞬動を使い一瞬でエミヤに近づくがそこまで甘くはない。

エミヤは剣軍が迎撃するが、

疑似空間爆砕。

空間が歪み爆砕し、宝具と概念武装を破砕する。

「何!？」

エミヤの顔が驚愕に歪む。

そりゃそうだ。

エミヤの師匠にして万華鏡とも言われる宝石翁が使う空間魔術の一つを疑似的に再現したのだ。

次の術式を構成する。

エミヤは右手を掲げ、

「剣軍浮出、突撃！」

数十の剣軍が浮遊し、一夏に飛翔するが、

もう遅い！

第四魔法の秘奥に匹敵する魔術。

究極の対存在魔術

一夏の目の前に黒い炎が広がる。

飛翔した剣軍が黒い炎に接触した瞬間に

バシユウウウウ！

剣軍がまるで硝子の様に砕け散った。

エミヤの眼が驚愕に歪む。

「バカな！物質崩壊の情報因子の具現化だと！？」

青の魔法使いのブラウニング・スターマインを越える魔法の真髄にして第二魔法を目指す者が辿り着く最終地でもある究極の破壊。

物質そのものに含まれている情報因子を破壊する概念を破壊を意味する炎で再現する。

触れた者全てを容赦なく破壊する破壊の権化。

五法を以てしてもその炎を突破することは不可能。

空想具現化を使つたとしても、空想具現化の概念そのものを消滅させる。

その瞬間に一夏が使える宝具を右手に召喚し、イグニッション・ブリストと瞬動でアーチャー懷に一瞬にして潜り込みむが、アーチャーは最強の花の盾を投影する。

だが、もう遅い

宝具破戒する却の翡翠剣

エヌニユ・バルカスナ

翡翠色の短剣を突き刺す。

七つの花弁が、

バキヤアアアン

粉々に碎け散る。

エミヤが何度目かの驚愕に染まる。

しかし、一夏は止まらない。

rank Sの大魔術。使おうものなら一瞬で封印指定物。

かの宝石翁を驚愕させた大魔術。

通常、英霊は二十七祖に匹敵する対魔力抵抗を持っているのだ。

最低でもrank A+以上の魔術を直撃しないと傷すら負わない。

黒のお姫様はrank EX級の魔術を直撃しても傷すら負わない。

ならば、今放てる大魔術を放つ。

空気中の分子を化学反応させて、一種の核反応を起こして爆発的なエネルギーを発生させる極大魔術。

範囲は狭いが一撃で英霊で倒せるだろう。

まずは、放射線を中和する魔術、

放射線中和構成を空間に展開し、

右手をエミヤに近づける。

核融合構成

カッッ！

世界がモノクロに染まる。

極光が走り、白く世界が染まる

130万の炎が世界を蹂躪する。

地面が吹き飛び、あらゆる存在を無に還していく。

世界が元の色に戻っていく。

「流石に、抑え切れなかったかつ・・・」

エミヤは、胸に大きな穴が空いていた。

「何を言うか、普通なら塵も残らんぞっ」

一夏とて無傷ではない。装甲はボロボロに砕け、左肩に穴が空いていた。

なんと滑稽か。まるで、ランサーのようではないか。

なんとか、魔力で痛みに耐える。

エミヤは、消えかかっている。

「

」

エミヤの右手に真鍮の剣が現れる。

・・・ああ、分かってるよ。

まったく、こいつは、こんな性格だから損ばかりする。こつゆつやつにはなりたくないまったく。

地面に真鍮の剣を突き刺し、高らかに真名を唱える。

自然癒すは天詔の巒丘

ナマリナ・タカサリナ

もの凄い勢いで草木が再生していく。

周り一面に広がっていた赤くひび割れた大地が鮮やかな緑の絨毯に変わっていく。

エミヤは、

「くつ、今度逢ったときは必ず決着をつける」
「上等。」

その瞬間にエミヤは消滅した。

・・・さて、長居は無用だな。

無理矢理魔力を生成して、空間転移を行う。

シルバーヘッジ
空間転移術式

起動。

元の世界の座標値を演算し、術式に組み込む。

その、瞬間に転移した。

「という夢を見たんだ。」

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」

ヒロインズ五人は呆然としている。

千冬姉は頭を抱え、超小言で「思い出すな思い出すな思い出すな思い出すな」と瞳のハイライトを消して呟いていた。

東さんは鼻血をドバドバ流しながら手をワキワキさせて「真顔のいつくん、げ、げ激萌え！」と恍惚な顔で呟いていた。

・・・え？なにこのカオス？

簪ちゃんに到っては床に寝そべり（何故か床が真っ赤に染まっている）ピクピク痙攣して、赤い文字で「一夏きゅん萌へ」とダイニングメッセージを残し、口からは「萌え」という謎の呪詛が漏れていた。

な、何があつたんだ？

結局、全員が正気に戻るまで一時間近く掛かった。

宝具破戒する却の翡翠剣（後書き）

そつえば、C3のOP買ったけど聞いてないや。

d e s i r e d d r e a m i f t h e p l a c e o f p e r s o n

感想文ありがとうございます。

間が空いてしまってますいせん。

ドリパに行ったり、積みゲー消化したり、出張で北国に行ったり、知り合いの結婚式に行ったりで遅れてしまいました。

今回、初代D・C・の台詞と我が主人公の朝倉純一が出てきます。

個人的には音夢よりさくら派です。

鳥居花音様がアグミオンに変わってて正直ビビりました。

さて、ここで話題が変わりますがD・C・シリーズの新作D・C・?
が発売されるらしいですね。ドリパで団長も絶賛開発中とおっしゃっていましたが。

D・C・?の中では唯一芳乃の姓を受け継ぐシャルルが気になっています。

シャルルがD・C・?のD・C・の最後に出てくるさくらさんに関係があつたらいいなあと本気で思います。

早くD・C・?発売しないかな

なぜだろう・・・

目の前には、

常夜の銀月が淡い赤い桜を幻想的に照らす風景が見える。

そこにいるのは、織斑一夏と・・・一人の少女。

その少女は泣いていた。

顔を涙で濡らし、声を出さずにうつ向きながら、泣いていた。

その少女は悲しんでいた。表情からも分かるし、何より、桜が悲しんでいた。

まるで少女の悲しみを、悔しさを体現するかのように桜が散っていた。

対して一夏は、悲しい笑みを浮かべ、その少女を抱き締めていた。

その瞬間に意識が消え失せ、視界がブラックアウトし、映るはダルクアイト。

な、なんだ今のは？

やけにリアルな夢？だったな。

・・・？

・・・！

足に桜の花びらが引っ付いていた。

ということはさっきのは現実か？

純一が言っていた「織斑一夏の果て」か？

だが、まだ私は「至っていない」。

いや、正確にはまだ至れない。

至れるはずがないのだ。

まだ私は、本当の「織斑一夏」には成っていないのだから。

織斑一夏と言う存在は希鑾だ。

永遠を繰り返し、まるでダ・カーポの様に繰り返す。

そう、ゆっくりとでも、桜の花びらが降り積もるように

、

美しくても、地に落ちてしまえば汚れてしまう花びらのように、

ひどく緩慢だけれども、臆て心も軋みだす。

そして、狂ったように桜が舞い、跳ね、朽ち、そしてその狂気を掬い、織斑一夏を作り、また狂気が桜のように散る・・・。

あの桜の魔法使いことMrかつたるいが「一夏、お前の存在は空っぽだ。その隙間は永遠に埋めることはない。もし、その隙間が埋る時はお前の旅の終着だ」らしい。

あいつは生身でユニコーンとともにやり合う正真正銘のバグキヤラだからな。

しかも、なんかパートナーに義妹と幼馴染を連れていて、その義妹と幼馴染みもバカみたいに強いし。

あれ、純一と戦って勝った記憶がない……

黒の姫君の完全体とまともにやり合い、ケシオン・バンパイアや宝石翁と共にTHE・dark sixとその配下の吸血鬼を封印した奴にどうやって勝てというのだ。

あいつは織斑一夏の果てを「知っている」のだ。

幾重にも重なりあう可能性をあいつは「視る」ことができる。

本来、消えてしまう可能性でさえもあいつは視る事が出来てしまうから恐い。

だがあいつは「まだ一夏の未来は不確定だ。というかなんで一夏の未来は何百も分かれているんだ？」と言われた事があった。

どうゆう事だ？。

まだ見れる筈がない世界への精神体跳躍。

首を傾げた瞬間、

『簡単さ。この夢は魔法使いが見る夢なのだから』

まるで頭の奥底から発せられたような、鈴のような、まるで少女が夢見るような、ニコニコと微笑みながら喋り声が聞こえた。

！？

一体何が起きているんだ？

む、もうすぐ姉sが帰ってくるか。

蒼穹を見上げる。

何が起きようとしている。

それは確かだ。

とりあえずは姉sを迎えよう。

やらないか？（前書き）

今回はネタよりです。

ねらーやニコニコの住人なら誰もが知ってる阿部さんが出てきます。

知らない人は山川純一かくそみそテクニクで検索しましょう。

まあ、大概の人は知ってると思いますが・・・

個人的に阿部さんは頭の中では最強なので、強くしました。

歴史を紐解くと意外に格闘家や武人と言われた古きの人は男色家が結構多かったりします。

ちなみに主は知り合いに変人と変態が無駄に多いので、こうゆう系統の会話にはなれています。

あと一夏はコーヒー牛乳の他に炭酸を飲むと二等頭サイズになり（これもほつとくと元に戻る）、眼鏡をかけると落とし神様に匹敵する力を手に入れたり、マタビを嗅ぐとリアル猫耳と猫尻尾が生えたり（ほつとくと元に戻る）、風邪をひくと女殺しフェロモンを放つたりと色々と体がファンタジーです。

某イ力的な物に侵略されかけたアニメの主人公みたいなあらゆる幻想をぶち壊すみたいな能力ありません。

それに「くっ、俺の右手が・・・！」みたいな物は有りません。

やらないか？

「・・・っは！？私は一体何を？」

「うに？ここは・・・？」

「おかえり、千冬姉、束さん」

一応、笑顔で言ってみる。

・・・

・・・

・・・

ブシャヤヤヤヤヤ！！！！

二人がジェット噴射並の赤い液体を噴射する！

っておおい！

明らかに致死量レベルの鼻血だぞ！。いくらギャグ補正でもこれはヤバイ！

「ふ、二人とも大丈夫！？」

二人はニヤニヤしながら痙攣していた。

くっ、いくら男の娘補正がこれ程の威力とは！

恐るべし、男の娘。

ってこんなオタク思想をしてる場合じゃなかった。

二人を横に並べ、

ネグリット・アクア
生体回復術式

頭の中で血液生成を促す術式と増血作用のある術式&細胞再生を促す術式、三つの魔術式を組み立てる。

元々、回復魔術系統はあんまり得意じゃないから構成に時間が掛かる。

なんで血液系統の魔術はこんなに術式が複雑なんだ？

頭の中で式と式を組み合わせ、計算式を導きだして、結果を導き出す。

血液系統は無駄に式が多い上に計算式が妙に長い。しかもその計算式が変数完式方式だから余計に時間が掛かる。

・・・ふう。構成終了、発動！

二人の体を淡い蒼色の光が包み込み、癒やしていく。

二人の胸骨、肋骨、脊椎、骨盤、腸骨辺りが光る。

そーいえば、血液を生成する場所って人体に何カ所もあるからなあ。

一番血液を生成するのが、腸骨と骨盤だからなあ。

千冬姉の血液型はBRh+何だけど束さんの血液型が日本人では珍しいARh-なのだ。

・・・まあ、私もBRh-なんだがな。

もっと詳しく言えばFy(a-b-)。普通じゃBRh-≡Fy(a-b-)はあり得ないがこの体自体が色々おかしいから気にしない。

たまに噓くしゃみをすると体が並行空間に跳躍したり(ほっておいたら元の世界に戻る)、コーヒー牛乳を飲むと身長が縮んだり(これは気合いで身長を調節できる。ほっとくと元に戻る。なぜか縮む。身長は伸びない)、なんか道を歩く度にぬこやらワンコやら鳥が寄つてきたり(しかも綺麗に整列しながら。なんか動きが妙にシンクロしてるからなんか恐い)するからもう馴れた。

それにたまになんか綺麗なお姉さんがすんごいニコニコしながらどこかに連れていこうとするから困る。

まあ、記憶忘却魔術をお姉さんに掛けて光学迷彩魔術で逃げるんだけどね。

千冬姉と束さんは毎度の事たがら気にしない。たぶん、箒ちゃんとりんりんも千冬姉と同属なんだろうな・・・。

まだ会ってないからわかんないけど。

？もしむさいおっさんが連れていこうしたらどうするって

とりあえず疑似宝石剣に匹敵する雪平零式の斬撃をお見舞いするね。

昔に誘拐されかけてその時のトラウマが・・・

うん、まだ阿部さんならまだ許容範囲。

そりゃあ、青いツナギを着ていて、ベンチに腰掛けていて、やらな
いか？なんて言われたらホイホイ着いていつちまうよ。

阿部さんには昔に世話になったから大丈夫。あの人は素手でISを
破壊するからなあ。

あの人には何度命を助けられた事か。

なんか千冬姉とも仲がいいし。

この世界でも阿部さん対して接触済み。

たまには千冬姉の練習相手になって貰ってるけど今の所、千冬姉の
全敗。

勿論、ISでも千冬姉の全敗。

というか勝てる筈かない。阿修羅閃空みたいな動きをされて攻撃は
当たらない上に、一撃が妙に重い。

いや、あれを重いつていっちゃだめ。世間的な重さに革命が起こる。

なんせ、模擬刀でISの刀を砕いてしまふ。

あの時の束さんの顔が凄かった。うん。

阿部さんが語るには「物質には必ず弱点がある。俺は物質が碎ける打ち方をしているだけだ」らしい。

・・・阿部さんって何者？

ふむ、もう少し回復に掛かるか。

やらないか？（後書き）

ばんにゃ可愛いよ、ばんにゃ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8007w/>

織斑一夏転生日記。

2011年10月31日16時15分発行